

第2章

園でのかかわりと 家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)

園や家庭での経験は、それぞれがどのようにつながっているのでしょうか。ここでは、前述の「三つの力（生活する力、発見・考え・表現する力、かかわる力）」の視点から「園でのかかわり」と「家庭で大切にしたいこと（保護者のかかわり）」を考えてみました。

3歳児前期、後期、4歳児前期、後期をそれぞれ「三つの力」に分けて具体的にイメージできるように示しています。

成長の過程は子ども一人ひとりによって様々ですが、大まかなその時期の子どもの姿として記載しています。



フライパンでお料理、楽しいな



双眼鏡をもって、探検に行こう



「いらっしゃいませ」「くださいな」



お気に入りの動物を作ったよ



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの


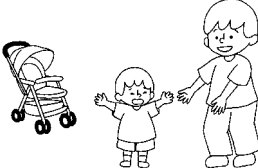







ご機嫌しだいの3歳児



生活する力

大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
生活する力	自分のことは自分でする	情緒 <ul style="list-style-type: none"> 園生活に慣れるまでは泣くなど不安を示すが、次第に保育者や園に親しみを感じて登園するようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園での様子と家庭での様子の情報が共有できるようにする。一人ひとりのペースで慣れていけるように見守る。 
		運動 <ul style="list-style-type: none"> いろいろな体の動きが可能になり体力もつき、体を動かすことが楽しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外や室内で様々な運動遊びが楽しめる機会をつくる。 走る、ジャンプする、ボールを投げる、起伏のある場で遊ぶなど用具や遊具、遊びの場所を工夫する。
		排泄 <ul style="list-style-type: none"> おむつがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの使い方を知らせる。 時間を決めてトイレに誘ったり、タイミングをみて声を掛けたりしながら自分で排泄ができるようになる。
		食事 <ul style="list-style-type: none"> こぼすことが少なくなり、自分で上手に食事をするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備から片付けまでの手順を知らせ、繰り返し指導する。 楽しく食べながら、マナーやこぼさず食べることを意識させていく。
		着脱 <ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱の仕方が分かり、大部分を自分でできるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに必要な手助けをしながら、自分でしようとする姿を見守り、励ます。
		物の始末 <ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒に片付けをするようになる。 毎日、園に持って行く物が分かるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人マークや遊具の置き場所のイラスト、写真などを活用し、身支度や片付けを自分から行えるようにする。
		手洗い・うがい <ul style="list-style-type: none"> ブクブクうがい、ガラガラうがいができるようになる。 汚れたときや食事の前は自分から手を洗おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがいは繰り返し声を掛けるとともに、正しいやり方を知らせ、習慣付ける。

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)
<ul style="list-style-type: none"> 園が楽しい場所であることを家庭で話題にし、期待をもてるようにしていきましょう。 園や先生を信頼し、親子で毎日楽しく通えるようにしましょう。  <p>わからなことがあたら なんでも先生に聞いて いいんだよ</p> <p>今日もたくさん 遊んでおいで</p>
<ul style="list-style-type: none"> バギー (ベビーカー) を卒業し、歩くことや戸外遊びの機会を多くしましょう。また、階段の昇り降りや、しゃがむなど、生活の中で様々な動きを意識してみましょう。  <p>歩く気持ちがいいよ!</p> <p>一緒に歩こう!</p>
<ul style="list-style-type: none"> 家庭以外のトイレを利用する機会をつくりましょう。失敗しても叱らず、一人でできているところを認め、自信がもてるようにしてあげましょう。  <p>一緒にトイレに入るから大丈夫よ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べる意欲を大切にしましょう。 食事中は席を離れない、遊びながら食べないなど、食事のきまりを明確にしましょう。 親子で一緒に楽しい雰囲気ですることを大切にしましょう。  <p>みんなで 食べるおおいね</p>
<ul style="list-style-type: none"> 自分で扱いやすく、遊びに適した靴や服を用意しましょう。自分で着脱ができた満足感を味わえるように、最初は手を添えてやり方を知らせ、少しずつ自分でできることを増やしていきましょう。  <p>自分でできるかな</p>
<ul style="list-style-type: none"> 持ち物にマークを付け分かりやすくするとともに、一人で扱えるかどうか、確認しましょう。 登園に必要な物を置く場所を決めておきましょう。 おもちゃを片付けやすいよう工夫し、片付けてきれいになった気持ちよさを味わえるようにしましょう。  <p>この場所が ○○ちゃん の場所ね</p>
<ul style="list-style-type: none"> 「帰宅したら手洗い、うがい」が身に付くよう、親子で一緒に行いましょう。 食事の後は「ブクブクうがい」帰宅後は「ガラガラうがい」と、うがいの仕方が違うことを知らせていきましょう。  <p>帰ってきたら すぐに手洗いうがいさよね</p>



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの

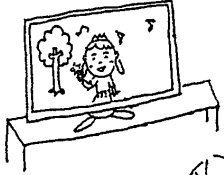




ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊び(遊具や場)を見付け、見立てたり、「〇〇のつもり」の遊びをしたりして楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭にあるような遊具を多めに用意し、それぞれが興味のある物で遊ぶことを楽しめるようにする。 保育者も一緒に遊ぶことで遊びの楽しさを感じられるようにする。 ごっこ遊びなど、幼児が体験したことをその子なりに再現したり、動物やお母さんなど何かになりきったりしている姿を受け止め、楽しんでる世界を受容したり、共感したりする。
	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもつようになる。 感覚的な遊びを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な虫や草花に出会い、見たり触れたりすることを楽しめるように、戸外で遊ぶ機会をつくる。 水や砂の感触や、解放感を味わいながら遊ぶことができるように、砂場に扱いやすい遊具を用意したり、様々な水遊びを取り入れたりする。 
	言葉や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な言葉が分かり、使うようになる。 簡単な色・数・量・形などに興味をもつようになる。 自分なりに思いを表わすようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要な言葉(「貸して。」「入れて。」「ごめんね。」など)や時間や場所を表す言葉、会話で使う言葉を知らせ、友達とのかかわりが楽しめるようにする。 伝えたい思いを具体的な言葉で代弁したり、思いに寄り添って共感したりしながら、自分の思いの表出を支援する。

家庭で大切にしたいこと(保護者のかかわり)

 <p>プリンセスになって遊ばせよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テレビや動画などの視聴だけではなく、子どもが自分から興味のある遊びにかかわる時間を大切にしましょう。(視聴時間は各家庭で上限を決めるとよいです。) 園での様子を聞いたり、興味のあることを話題にしたりして、子どもの興味に寄り添いましょう。 物を何かに見立てて遊ぶ姿や、何かになりきって楽しんでいる姿を見守り、温かく受け止めましょう。
 <p>穴が大きくなって...</p> <p>よし、一筋の天幕を作るぞ!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、砂遊び、虫探しなど、好奇心を大切にし、自然物に直接触れて遊ぶ機会をつくりましょう。 虫を見る、花の香りを楽しむ、砂場で遊ぶなど、諸感覚を使って大人も一緒に様々な感触を楽しみましょう。
 <p>入れて</p> <p>お友達が「入れて」って言ってるわよ</p> <p>何で言ったのかわからな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大人の話す言葉がモデルとなるように意識しましょう。また、遊びの中で「貸して。」「待っていてね。」など、必要な言葉も知らせましょう。 絵本の読み聞かせなどをとおして様々な言葉に触れる機会をつくったり、楽しかったことを話したりしながら、言葉のやりとりを楽しみましょう。 大人が、子どもの気持ちを切り替えるきっかけを作り、「〇〇したかったんだね。」など、受容する言葉を掛けながら気持ちに寄り添い、思いの表出を見守りましょう。



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
かかわる力	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう。」「さようなら。」など、生活に必要なあいさつや返事をするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が率先してあいさつし、あいさつの心地よさを知らせる。
	あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> 友達のしていることに興味をもつ。 周りにいる同年齢の幼児に親しみをもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の友達の名前を知ったり、親しみを感じたりできるよう、みんなで一緒に楽しめる活動を取り入れる。 同じ物を持ったり同じ場で遊んだりできるようにしながら、同じ場で過ごす心地よさを感じられるようにする。 
	人とかわる	<ul style="list-style-type: none"> 時間になったら遊びを切り上げるなど、場や状況に応じた態度をとらないといけないことを知る。 集団生活でのルールや安全の約束が分かる。  	<ul style="list-style-type: none"> 生活の流れの中で「片付け」「食事」など、気持ちを切り替えて行動できるように次の活動の投げかけを工夫する。 自分で我慢ができたことを十分に認め、自信がつくようにする。 遊びの中で順番や物の貸し借りや遊具を大切に扱うことなど、場面に応じて知らせる。 視聴覚教材を使って安全の約束を知らせる。 上の学年の幼児の姿をとおして、集会や行事など様々な場面での望ましい態度を知らせ、「今はこうする」という姿勢が意識できるよう促す。

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)	
	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なあいさつや返事など必要な言葉は、大人が手本となるよう、気持ちのよいあいさつを心がけましょう。
 <p>一人ひとり好きなことは違う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中で「友達と仲良く遊ぶ」ことを求めがちですが一人ひとり好きなことは違うので、友達と違うことをしていても焦らず見守っていきましょう。まずは一人でも夢中になって遊ぶということが大切です。 保護者同士はもちろん、同じ園に通う子どもたちについても、互いに受け入れ合い、親しみをもって接しましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分で使った物は自分で片付ける、あいさつをして食事をするなど家庭でのルールを決め、決まりや約束を守る習慣を身に付けていきましょう。 大人が生活のリズムを整えて「遊び」「片付け」「食事」「就寝」など、活動の切り替えを明確にして促していきましょう。 気持ちの切り替えが難しいこともあります。我慢を学んでいるときだと捉え、根気よく一人ひとりに合った声の掛け方や取り組み方を探っていきましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> 遊びの中で大人も一緒に順番を守ったり、公共の物を大切にすることを示したりしていきましょう。安全に利用するための約束を、その都度知らせましょう。 乗り物の中や病院では静かにするなど、場に応じた態度をとることを知らせましょう。



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの


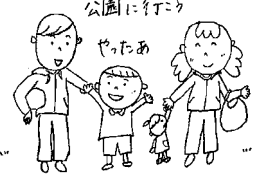

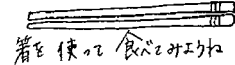

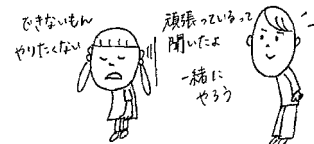


ご機嫌しだいのお3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
自分のことは自分で	情緒	<ul style="list-style-type: none"> 友達や保育者とかかわり、園での生活を楽しくに登園するようになる。 大きくなった喜びや進級への期待感をもつようになる。 階段で交互に足を出して昇り降りするなど、体の動きが調整できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんできたことの続きをしたり遊びの世界を広げたりできるよう、興味や関心に応じた遊具を用意する。 4月から新入園児が入ることを知らせたり、4歳児と交流したりし進級の期待感ももてるようにする。また、一緒に遊ぶ・食事をする・散歩に行くなど、4、5歳児と交流し進級の期待感ももてるようにする。
	運動		<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活をとおして、歩く・走る・跳ぶなど、様々な動きを経験できるようにする。また、鬼ごっこ、音楽に合わせて踊る、遊具を使って遊ぶなど、体を動かす楽しさを知らせる。
健康で安全な生活をする	排泄	<ul style="list-style-type: none"> 自分で排便の始末ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 排便後の拭き方を知らせ、しっかり拭けているかを確認する。
	食事	<ul style="list-style-type: none"> 箸を使って食べることができるようになる。 * P27 コラム参照 	<ul style="list-style-type: none"> 箸の持ち方や お箸の持ち方、使い方等、その都度知らせる。 
体を十分に動かし、進んで運動しようとする	着脱	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方が分かり、身の回りのことや遊びの片付けなど、自分からするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分であろうとする姿を認め、コツを教えたり、手を添えたりしてできた喜びが感じられるようにする。 汗をかいたり汚れたりした時は着替えることに気付けるよう声を掛ける。
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> 自分のものが分かり、始末や片付けをしようとする。  	<ul style="list-style-type: none"> 所持品の始末、片付けなどの様子を確認し、必要に応じてかかわる。 自分であろうとする姿を認めたり励ましたりし、自分でできた喜びを感じられるようにする。
生活する力	手洗い		<ul style="list-style-type: none"> 自分であろうとする姿を見守り、できたときは、大いに褒めて自信がつくようにする。

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)

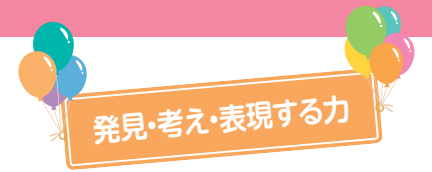
	<ul style="list-style-type: none"> 園の様子、友達、先生のこと等を話す時間をつくり、園生活が楽しくなるようにしましょう。 上の学年への憧れの気持ちをもてるように、<u>親子で進級を楽しみにしましょう。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> 散歩をしたり、一緒に戸外で遊んだりして、体を動かす楽しさを十分に味わえるようにしましょう。公園で固定遊具を活用するのもよいでしょう。 様々な動きや遊具などに<u>自分でチャレンジしようとしている姿を大切にしましょう。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> 自分で排便の始末ができるように<u>家庭でも繰り返し伝えていきましょう。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> フォークやスプーンの持ち方が上手になったら、箸を使い始めましょう。フォークやスプーンと併用し、<u>徐々に慣れていきましょう。</u>
	<ul style="list-style-type: none"> 自分であろうとしている姿を認め、少しずつできることを増やしていきましょう。 <u>自分でできるようになったことを褒めましょう。</u> 「上手だね。」「片付けると気持ちいいね。」など、<u>具体的な言葉で認め、意欲を引き出しましょう。</u> 引き続き、後片付けの習慣が身に付くよう、物の種類や大きさなどに合わせ、片付けやすい環境に整えましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> <u>自分から気付いて行っているときは、たくさん褒めましょう。</u> 一緒に行ったり繰り返し言葉を掛けたりして、習慣付くようにしましょう。



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある環境(場・物・人等)に自分からかかわり、繰り返し遊びを楽しむようになる。 身近な素材を使って遊ぶことを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや興味をもったことに、繰り返し取り組める時間や場を保障する。 遊びの中で“つもり”を楽しめるように、声を掛けたり、遊びに必要な物を作ったりする。 クレヨン、絵の具、粘土など、様々な素材に触れる機会をつくるとともに、ハサミやセロハンテープの使い方、安全な扱い方を知らせる。 
	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に親しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 草花や木の実、紅葉、雪や氷など、自然物を取り入れた遊びができるよう用具を用意し、自然の不思議さや美しさに共感し、一緒に楽しめるようにする。 
	言葉・文字や数量など	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居の話のおもしろさが分かり、イメージをもって楽しむようになる。 動きや言葉で相手に気持ちを伝えようとして、困っていることを表したりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居などのお話をイメージし、表現遊びやごっこ遊びをする中で、いろいろな表現の方法を知り、楽しさが味わえるようにする。 自分の思いや考えを表現している姿を受け止めていく。 

家庭で大切にしたいこと(保護者のかかわり)	
 <p>やりたい 今日一緒に何かしてみようか? お手伝いできる?</p>  <p>よく考えたな シカクと作ったのね</p>	<ul style="list-style-type: none"> 夢中になって遊ぶ中で「楽しい。」「できた。」という気持ちに共感し、繰り返し取り組んでいる姿を温かく見守りましょう。 生活の中での様々なこと(掃除・洗濯・食事・買い物など)もごっこ遊びにつながります。家庭でも身近な素材を使って、遊びに使うものを親子で一緒に作りましょう。 作品は出来栄を評価するのではなく、子どもなりの表現を大切にしましょう。子どもが楽しんだことや工夫しているところを見付け、「○○を作ったのね。」「よく考えたね。」など、親子での会話を楽しみましょう。
 <p>わぁきれいな色ね。あまはきれたね</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉や雪、氷等、その時期ならではの自然に触れ、「葉っぱが赤いね。」「冷たいね。」「つるつるしているね。」など、大人も子どもが感じていることに共感したり、一緒に遊んだりしましょう。
 <p>もういやだ? どうしていやなの? 気持ちにぶつかるか? 教えてくれるかな?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせは、子どものイメージを豊かにすることや相手の気持ちを考える力を育むことにつながります。継続して機会をつくりましょう。 子どもが感じていることや思っていることを言葉にできるように、話をじっくりと聞いて受け止めてあげましょう。「いやだ。」の言葉の背景にある気持ちを推察・代弁し「本当は○○したい。」などと言葉にしてあげましょう。



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの



ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
かかわる力	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒にあいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じたあいさつの仕方を知らせる。
	あいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達や、遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになる。 みんなと一緒に過ごす楽しさを感じるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 優しい言葉、うれしい言葉を生活の中で多く使う。 一緒に遊ぶ友達と同じ動きを楽しんだり、同じ物を持って喜んだりする気持ちに共感する。 保育者や友達と触れ合いがもてるように、簡単なルールのある集団遊びを取り入れ、みんなで遊ぶことが楽しいと感じられるようにする。 友達とのトラブルでは、「嫌だったね。」「使いたかったんだよね。」など、幼児の気持ちを受容する言葉を掛けたり、相手の気持ちにも気付かせたりする。
	人とかかわる		
きまりや約束を守る	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方やきまりが分かるようになる。 自分の思いどおりにならないこともあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要なきまりについて、視覚的に示したり、理由を考えさせたりして、繰り返し伝える。 一緒に遊ぶ中で順番を待つことや交代で使うことを知らせる。 気持ちを受け止め、「こうしなかったんだよね。」と共感したり少し距離を置いたりしてかかわりながら、気持ちを切り替えられるようにする。 	

家庭で大切にしたいこと (保護者のかかわり)
<ul style="list-style-type: none"> 大人がモデルになってあいさつの心地よさを繰り返し知らせましょう。
<ul style="list-style-type: none"> 親子でも優しい言葉のやりとりや触れ合いを多くし、人との心地よいかかわりを増やしましょう。 話を聞く中で、いろいろな友達の名前が出てくるようになります。友達は楽しい存在という気持ちに共感しましょう。 友達と一緒にうれしい時期なので、「友達と一緒にいいね。」「同じだね。」と言葉を掛けたり、温かく見守ったりしましょう。 主張が通らないと手が出るなど、友達同士のかかわりの中で気になることが出てきます。最初からトラブルを避けるのではなく、かかわり方や必要な言葉を繰り返し知らせ、子どもが体験していく中で学んでいくことが大切です。
<ul style="list-style-type: none"> してよいこと、悪いことがあることをその都度知らせましょう。なぜ、その行動をしたのかを聞き、周囲にどのような影響があるかを伝え、どうすればよかったのかを一緒に考えましょう。 順番を待ったり交代で物を使ったりする機会をつくりましょう。「待っていると自分の番がくる」ということを知らせると、安心して待てるようになります。 物事を自分でしようとするのは自律への一歩です。子どもの気持ちを汲み取り、見守る方法もあります。